

# 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：小規模多機能ホーム きいちご倶楽部

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：平成 29 年 7 月 5 日 15 時～16 時

会場：きいちご倶楽部 第 2 リビング

出席者

（人数）

利用者代表	0 人	有識者	1 人
利用者家族	1 人	高齢者あんしん 支援センター職 員	1 人
地域住民の代表	1 人	出雲市職員	1 人
その他（法人理事長、管理者）			2 人

（報告事項）

## 1. ご利用の状況

現利用登録者は 16 人であり、4 月から 6 月に 2 人ご利用中止（ひとりは老健に、ひとりはグループホームに入られた）となり、3 人のご利用者が増えてきたことを報告した。それに伴って通い、訪問も増加してきている。

## 2. 5 月、6 月の主な活動、行事

「きいちご便り」7 号に沿って、日頃の活動、ひかり保育園の行事への参加など月の行事や活動を報告した。

## 3. 曜日ごとの通いご利用者の平均人数を報告した。多い日は 10 人の曜日が 3 日あり、これに宿泊からの通い、急な通いの方が入ると、12 人の上限に達する日が出てくる可能性があることを報告した。

（要望、意見、助言等の要点）

- ・ 4 月からご利用を開始されたご利用者のご家族で、地区の助け合いグループで福祉の仕事をしている方からご利用にあたってのお気持ちなどをお話しいただいた。
- ・ ご利用者が増えてきたが、代わりに、お二人が利用中止されている。加えて、現在、特養の利用を申請中の方、またグループホームに申し込みをされている方もおられる。経営が安定する状況では必ずしもない。
- ・ 曜日の定員を超える可能性が出てきたが、定員を増やすことも検討してゆくべきではないか。
- ・ 塩冶地区のご利用者は現在 4 人である。少しずつ増えてきているが、遠方の方もおられる。
- ・ 地域との交流が必要であるが、まずは家族会を作ってみてはどうか。

（文責 山崎賢二）